経常建設共同企業体にあっては、経常建設共同企業体又は構成員のうち一者が上記の施工実績を有すること。
㋐　建物用途　病院
㋑　建物構造　鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造又は鉄骨造
㋒　建物規模　３階以上　新営工事の場合、延べ面積4,000㎡以上　改修工事の場合、改修延べ面積4,000㎡以上
㋓　工事種別　管工事
⑸　次に掲げる基準を満たす主任技術者又は監理技術者を当該工事に配置できること。なお、建設業法第26条及び建設業法施行令第27条に該当する場合は専任とする。
①　１級管工事施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。
②　平成16年度以降に、元請けとして完成・引渡しが完了した次の基準を満たす新営工事又は改修機械設備工事を施工した経験を有すること。（共同企業体の構成員としての経験は、出資比率が20％以上の場合のものに限る。）。ただし、経常建設共同企業体の場合にあっては、一者の主任技術者又は監理技術者が同種工事の経験を有していればよい。
㋐　建物用途　病院
㋑　建物構造　鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造又は鉄骨造
㋒　建物規模　３階以上　新営工事の場合、延べ面積4,000㎡以上　改修工事の場合、改修延べ面積4,000㎡以上
㋓　工事種別　管工事
③　監理技術者にあっては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。
④　配置予定の主任技術者又は監理技術者にあっては直接的かつ恒常的な雇用関係が必要であるので、その旨を明示することができる資料を求めることがあり、その明示がなされない場合は入札に参加できないことがある。
⑤　経常建設共同企業体については、全ての構成員が①に定める国家資格を有する主任技術者又は監理技術者を配置できること。
⑹　申請書及び資料の提出期限の日から開札の時までの期間に、文部科学省から「建設工事の請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成18年１月20日付け17文科施第345号文教施設企画部長通知）（以下「指名停止措置要領」という。）に基づく指名停止措置を受けていないこと。
⑺　上記１に示した工事に係る設計業務等の受託者（協力を受ける他の建設コンサルタント等を含む。以下同じ。）又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと（資本関係又は人的関係がある者すべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く（入札説明書参照）。）。
⑻　入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（資本関係又は人的関係がある者すべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く（入札説明書参照）。）。
⑼　警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、文部科学省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと（入札説明書参照。）。
３　総合評価に関する事項
⑴　落札者の決定方法
①　入札参加者は、「価格」及び「技術提案書」をもって入札を行い、次の㋐、㋑の要件に該当する者のうち、下記３⑵③によって得られる数値（以下「評価値」という。）の最も高い者を落札者とする。
㋐　入札価格が予定価格の制限範囲内であること。
㋑　提案内容等が発注者の設定している最低限の要求要件を下回らないこと。また、評価値が、標準点を予定価格で除した数値（基準評価値）に対して下回らないこと。
②　上記３⑴①において、評価値の最も高い者が２人以上ある場合は、くじを引かせて落札者を決定する。
⑵　総合評価の方法
①　「標準点」を100点とする。「加算点」は、下記３⑶①の評価、並びに②及び③の評価項目において技術提案書の内容に応じ、最高32点を与える。なお、「ＶＥ提案とＶＥ提案に基づく施工計画」については、入札説明書に参考として示した標準案により入札に参加する（技術提案を行わない）場合は、「ワーク・ライフ・バランス等の推進」及び「工事全般の施工計画」に関してのみ、加算点を算出し与える（入札説明書参照）。
②　加算点の算出方法は，入札価格が予定価格の制限の範囲内の者を対象に下記３⑶①～③の評価項目ごとに評価を行い、各評価項目の評価点数の合計を加算点として付与するものとする。なお、下記３⑶③において「不適切（欠格）」の評価を受けた者については、入札の参加は認められない。
③　価格及び価格以外の要素による総合評価は、入札参加者の「標準点」と上記３⑵②によって得られる「加算点」の合計を、当該入札者の「入札価格」で除して得た「評価値」をもって行う。
⑶　評価項目　評価項目は以下のとおりとする（詳細については入札説明書による。）。
①　ワーク・ライフ・バランス等の推進
②　ＶＥ提案とＶＥ提案に基づく施工計画
㋐　ライフサイクルコストについて
維持管理を考慮した施工に関する提案について
㋑　環境の維持について
工事現場内で発生する騒音・振動・粉塵の抑制及び安全対策について
③　工事全般の施工計画
⑷　受注者の責めにより、採用された「ＶＥ提案とＶＥ提案に基づく施工計画」及び「工事全般全般の施工計画」に基づく工事が実施されていないと認められる場合は、指名停止措置要領に基づく指名停止を行うものとする。
４　入札手続等
⑴　担当部局　〒840―8502 佐賀県佐賀市本庄町１番地　国立大学法人佐賀大学環境施設部企画管理課総務主担当　電話番号　0952―28―8968
⑵　入札説明書の交付期間及び方法　令和元年７月22日（月）から令和元年８月19日（月）までの日曜日、土曜日、祝日及びお盆休み期間（令和元年８月13日から15日）を除く毎日の午前９時から午後５時まで。（kikaksom@mail.admin.saga-u.ac.jp）
入札説明書の交付に当たっては無料とし、上記電子メールアドレス先に会社名及び連絡先等を明記した電子メールにより申し込むものとし、電子メールの件名は、【入札説明書申込】「佐賀大学（鍋島１）（受水槽設備等）機械設備工事」と標記すること。なお、入札説明書等は、電子メールによる申し込み受信確認後申込先にパスワードを送付し、本学ホームページより取得するものとする。また、見積に必要な図面等についても、申請書提出後、本学より競争参加資格の確認通知とパスワードの発行を受け、本学ホームページより取得するものとする。
⑶　申請書及び資料の提出期間、場所及び方法　令和元年７月22日（月）から令和元年８月20日（火）までの日曜日、土曜日、祝日及びお盆休み期間（令和元年８月13日から15日）を除く毎日の午前９時から午後５時（ただし、最終日の８月20日（火）は午後１時）までに電子入札システムにより提出すること。ただし、発注者の承諾を得た場合は上記４⑴に持参し又は郵送すること（郵送の場合は、書留郵便等で上記の期日までに必着のこと。）。
⑷　入札保証金の納付等及び関係書類の提出期間、場所及び方法
競争参加資格の確認通知を受けた日の翌日から令和元年９月27日（金）までの日曜日、土曜日及び祝日を除く毎日の午前９時から午後５時（ただし、最終日の９月27日（金）は午後１時）までに 上記４⑴に持参し又は郵送すること（郵送の場合は、書留郵便等で上記の期日までに必着のこと。）。
⑸　入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法　入札書は、令和元年９月26日（木）の午前９時から令和元年９月27日（金）の午後１時までの間に、電子入札システムにより提出すること。ただし、発注者の承諾を得た場合は上記４⑴に持参、郵送（書留郵便に限る。）又は託送（書留郵便と同等のものに限る。）により提出すること。
開札は、令和元年９月30日（月）午後３時30分から国立大学法人佐賀大学第２本部棟１階企画管理課において行う。